



川内たかゆき後援会便り

元気みなぎる通信

2020
春号

川内たかゆき後援会

〒889-1802 宮崎県都城市山之口町花木 2253-6
TEL・FAX：0986（77）5298

《2期目後半も走ります！》

陽春の候、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は、川内賢幸並びに後援会に対し多のご指導、ご支援を賜り誠にありがとうございます。新型コロナウイルスの終息が見通せず、不安な毎日をお過ごしのことと存じます。3月には小中学校や介護施設、子育て施設等の819ヶ所に合計89910枚のマスクが配布されました。1日も早い終息を願うとともに、議員としてできることを積極的に行動してまいります。

2期目も折り返しに入り、2年間の総務委員長が終わり、12月には市議会初めての政策提言を市長に行いました。本年2月からは福祉、教育を所管する文教厚生委員会に配属となりました。

また、空き家問題解決に向けた審議会設置を提案し、現在空き家条例の制定に向けて副座長として取組んでおります。常に市民の皆様と同じ立場、同じ目線で、これからも市政発展に取り組んでいきます。まっすぐ前を見据え、走り、動き、伺ってまいります。元気みなぎる都城を目指し精進してまいります。引続き宜しくお願い致します。

都城市議会議員 川内 賢幸

【令和2年度一般会計予算成立】

2月25日から3月18日まで、3月議会が開会されました。本議会では、令和2年度の一般会計予算として**866.1億円**（前年比3.3%増）が計上されました。予算が大きくなっている理由は、職員の採用制度に「会計年度任用職員制度」を採用したことによる報償費の増加や、畜産力強化のための国からの補助金が前年より24億円増加したことが主な要因です。市としては、これまで同様、3つの宝「農林畜産業の振興」「地の利の拡大」「人間力あふれる子どもたちの育成」をより一層輝かす予算として、多くの事業が提案されました。

●山之口運動公園整備事業 6億5326万円

2026年「第81回国民スポーツ大会」等に向け、令和2年度より造成、解体工事等に着手。

本年4月から、体育館を除く既存施設の解体工事を市が行うこととし、その後、7月ごろから県による造成工事、調整池の工事が始まる予定。2025年度までの完成を目指している。施設全体概算工事額は214億円の見込み。

○関連事業：市道丸岡440号線の道路改良事業 1100万円

この市道は、スマートIC出入口に接しており、国民スポーツ大会の開催並びにその後の施設へのアクセスに欠かせない道路となっているが、現在は幅員が狭く、大型バス等離合が可能な状態であるため、改善と県道との交差点改良を行う。

○関連事業：佐土原川河川改修事業 700万円

これまで、台風や大雨の際に度々氾濫していた佐土原川の河川改修工事が決定。背景には、県立陸上競技場の排水の一部を佐土原川へ調整池経由で流入させる計画によるものだが、これまでの被害軽減と合わせて改修を行うこととしている。

○関連事業：山之口駅等整備事業に関する基本計画策定 1500万円

国民スポーツ大会、全国障がい者スポーツ大会の開催に合わせ、駅舎改築等の基本計画を策定するための事業。山之口駅舎の改築及び周辺の整備等を目的に基本計画をたて、国民スポーツ大会までに整備を行う予定。



使ってください！川内たかゆき！！ 皆様の困りごと、疑問に思っていること、要望等お気軽にお問い合わせください！！

080-5602-4463（本人直通）

●物産振興拠点施設整備事業（新道の駅） 2億7390万円

国道10号沿いにある「道の駅都城」を大幅リニューアルする事業。整備内容は、現在の「道の駅」と「都城圏域地場産業センター」等の建物をすべて解体し、新しい道の駅を建設。完成は令和5年度を見込んでおり、直売所を始めキッチンスタジオ、レストラン、イベント広場等が新しく整備される予定。

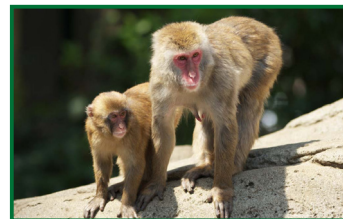


●都城志布志道路整備関連事業 6093万円

現在整備が進められている都城志布志道路については、令和2年度に2区間が開通します。①金御岳IC～末吉IC ②有明東IC～志布志IC。（全線の7割開通となる。）さらに、令和3年度には横市IC～乙房ICが開通予定。（全線の8割開通となる。）残る予定区間は、乙房IC～都城ICまでの区間となる。

●野生猿捕獲体制強化事業 89万円

野生猿による農林作物等への被害防止策として、野生猿の雌猿にGPS首輪発信機を装着し、野生猿群れの位置情報を把握する事業。行動パターンを蓄積・分析し、農林作物等への被害減少策を講じていく。対象エリアは、被害の多い高城町中心。最終的に組立式のセンサー付き大型捕獲檻を設置して、餌付けで誘引をおこない捕獲する予定。



●ふるさと納税活用事業

令和元年度寄付額（4月～12月）94億3723万円。このうち、当初予算における活用額は75億円となり、残りは今後補正予算で活用予定。

子育て、まちづくり、環境、スポーツ・文化、長寿、災害対策、人口減少対策支援など、あわせて212の事業にふるさと納税が活用。

《12月議会・3月議会 議会概要》

◎民生委員・児童委員の活動環境に関する意見書提案

昨年12月議会において、国へ活動環境の改善を求める意見書の提案を行いました。採決の結果「全会一致で可決」され、国へ意見書を提出しました。内容は以下の通りです。

- ①民生委員の活動費を更に引き上げるための措置を講じること
- ②民生委員が活動しやすい環境を整備し、負担軽減となる支援をすること。
- ③自治体が実施する民生委員への支援体制に対し、財政支援等を強化すること。

◎予算執行に関する附帯決議を提案

3月議会において、予算執行の在り方について、市民ニーズの把握、中山間地域などと中心部のバランスの取れた予算配分や事業提案を行うよう、都城市議会として初めて「附帯決議」を提案しました。残念ながら採決の結果「12:16」で否決されました。今後も市政のチェック機関としての議会の役割を推進してまいります。



【最近の活動報告】



【元旦辻立ち】



【山之口新春マラソン】



【消防団活動】



【会派報告会：志和池】



【市政報告会：語る会開催】



【子牛・乳子セリ・共進会など】



【スポーツ少年団等活動支援】



【どんぐり1000年の森をつくる会活動】